

令和4年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

33,704,840 円

1 文化事業 1,221,527 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 701,538 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「引札」展

開催期間 令和4年4月2日（土）～5月8日（日）

明治・大正期の新潟市並びに県外の面白い図柄の引札を展示紹介した。

観覧者数 1,288名（有料 1,185名・無料 103名）

② 「端午の節句飾り」展

開催期間 令和4年4月20日（水）～5月22日（日）

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 1,326名（有料 1,200名・無料 126名）

③ 「五姓田芳柳」展

開催期間 令和4年5月14日（土）～6月12日（日）

初代五姓田芳柳が描いた肖像画を、初公開となる作品3点を含めて展示紹介した。

観覧者数 1,559名（有料 1,343名・無料 216名）

④ 「そば猪口に見るデザイナー－洗練された江戸時代の人々の感性－」展

開催期間 令和4年6月18日（土）～7月10日（日）

そば猪口に描かれたハイセンスな図柄を通じて、日本人の感性の一端を紹介した。

観覧者数 874名（有料 742名・無料 132名）

⑤ 「みんなの問題・海のごみ」展

開催期間 令和4年7月16日（土）～7月31日（日）

一般社団法人 JEAN（クリーンアップ全国事務局）との共催。

海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。

市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借出し展示した。

観覧者数 456名（有料 405名・無料 51名）

⑥桜井進一氏写真展「新潟まつり」

開催期間 令和4年7月16日（土）～8月28日（日）

写真家・桜井氏が撮影した新潟まつりの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

観覧者数 1,201名（有料 1,054名・無料 147名）

⑦「面白図柄古裂（こぎれ）ーハイカラデザインの着物たちー」展

開催令和4年9月3日（土）～9月25日（日）

着物に使われた、明治から昭和初期のハイカラなデザインの古裂を展示紹介した。

観覧者数 939名（有料 783名・無料 156名）

⑧ 2022年新潟郵趣会ー鉄道開業150周年記念展「時代と共に生きる切手の世界ー」

開催期間 令和4年10月1日（土）～10月10日（月）

鉄道開業150周年にあわせ、珍しい切手や鉄道資料を展示紹介した。

共催：新潟郵趣会

観覧者数 418名（有料 349名・無料 69名）

⑨「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展

開催期間 令和4年10月15日（土）～11月6日（日）

新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。

また、越後生紙振興会の協力を得て、新潟県内の手漉き和紙と、それを使った作品も紹介した。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興会

観覧者数 1,445名（有料 770名・無料 675名）

⑩「ふろしき イマ・ムカシ・コレカラ」展

開催期間 令和4年11月19日（土）～12月25日（日）

小澤家に伝わる古いふろしきや、現代のふろしきを展示して、ふろしきの柄の幅広さを紹介した。

協力：大嶋屋呉服店

観覧者数 1,164名（有料 1,017名・無料 147名）

⑪「カルタと双六」展

開催期間 令和5年1月7日～2月1日（水）

お正月の遊びとして楽しめるカルタと双六を展示した。

来館者 364名（有料 299名／無料 65名）

⑫「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和5年2月18日(土)～3月21日(火・祝)

小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示した。

共催：新潟ハイカラ文庫

来館者 1,310名(有料 1,162名/無料 148名)

(2) 教育普及事業 60,270円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

- ① 古文書講座・・・6月水曜日コース 6月8日、15日、22日
6月木曜日コース 6月9日、16日、23日
10月水曜日コース 10月5日、12日、19日
10月木曜日コース 10月6日、13日、20日

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座を実施した。参加者の要望に応え、6月は各コース1回ずつ補講も追加実施した。

- ② 庭園講習会・・・6月25日(土)

旧小澤家住宅の庭園の管理をしている長生園の田辺良夫氏を講師に、松の剪定等の技術を学んだ。

- ③ ふろしき自由研究・・・8月21日(日)

大嶋屋呉服店の大嶋美樹子氏を講師に、小学生を対象にしてふろしきの使い方や歴史を学んだ。

- ④ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月16日(日)・23日(日)・30日(日)
11月3日(木・祝)

「新潟仏壇工芸」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

- ⑤ ふろしき講座・・・11月27日(日)、12月3日(土)

「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展の関連企画として、大嶋屋呉服店の大嶋美樹子氏を講師に、ふろしきのさまざまな使い方について学んだ。

- ⑥ 稲穂で作る正月飾り・・・12月4日(日)

新潟アグリクラフトを講師に、稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

- ⑦ クリスマスのミニアレンジ作り・・・12月11日(日)

アトリエ tazymazy の長谷川京子氏を講師に、クリスマスに飾れるミニアレンジを製作した。

- ⑧ フラワーアレンジメントワンディレクション・・・1月22日(日)

フラワーアレンジメントの展示にあわせて、1日体験教室を開催した。

- ⑨ 稲わらで作るひな人形・・・2月26日(日)

新潟アグリクラフトを講師に、自然の素材を使ったひな人形を製作した。

⑩ からくり人形の実演・・・3月5日（日）

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏を講師に、からくり人形の実演を行った。

⑪ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

また、新規のボランティアガイドも募集した。

※7月に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ講習会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(3) 施設普及事業 456,419 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月20日（金）～5月28日（土）

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

② 蛙まつり・・・6月1日（水）～6月12日（日）

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。

かえるクッキーや、福祉事業所で作成した「かえるちゃん」ポーチの販売も行った。

③ 夏至祭・・・6月19日（日）

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

共催・Bar Book Box

④ おやつの日・・・7月24日（日）、9月3日（土）、10月9日（日）

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。こはく会による、唄と三味線と踊りのライブも開催した。

⑤ 文化の日 無料公開・・・11月3日（木・祝）

文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

⑥ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日（水・祝）

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。

⑦ ふろしきファッションショー「フロコレ」・・・11月27日（日）

「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展の関連企画として、幼児～中学生までの子どもたちが、それぞれで決めたテーマにそってふろしきを身にまとい、茶の間にしつらえたランウェイを歩いて思い思いの着こなしを披露した。

⑧ 年忘れ煎茶会・・・12月18日（日）

煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。

⑨ 卯年ミニ展示・・・1月7日（土）～1月15日（日）

卯年に合わせて、うさぎの掛け軸やぬいぐるみ、本や雑貨のミニ展示を行った。

⑩ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・1月21日（土）～1月29日（日）

通り土間にお正月に合わせたフラワーアレンジメントを展示した。

⑪ たねをまく朝ごはん会・量り売りマーケット・・・1月29日（日）、2月23日（木・祝）

新潟で作られた食材を使った朝ごはんを提供した。

また、新潟の農家が作った野菜や芋、味噌や米、それをつかった総菜やお菓子などを、昔の市場をイメージし、環境にも配慮した量り売りで販売した。

⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日（木・祝）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、箏と尺八で春らしい曲を演奏した。

⑬ ミニ展示

通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、スタンドグラスや人形などを展示した。

※5月に予定していた「藤見煎茶会」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、また、12月に予定していた「お正月の苔玉作り」は荒天のため中止となった。

(4) 調査研究事業 3,300 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加し、令和4年6月5日には「第45回全国町並みゼミ新潟市大会」の分科会会場となった。

(5) 収蔵資料保存管理事業 0 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 32,483,313 円

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和4年度 旧小澤家住宅入館者数

13,400 人（対前年度比 123%）

新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然続いているが、徐々に持ち直してきている。

○ 旧小澤家住宅の 付帯事業 35,184 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどの開発・販売にも力を入れている。